

ケルン日本文化会館 及び パリ日本文化会館 館長交代のお知らせ

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は21カ国22都市に海外拠点を展開しています。

このたび、欧州の主要拠点であるケルン日本文化会館ならびにパリ日本文化会館の館長(ケルン日本文化会館館長はドイツ研究者の上田浩二、パリ日本文化会館館長は三井物産出身の中川正輝)が3月31日付で任期満了により退任することとなり、新任の館長に以下の両氏の就任が決定いたしました。

新館長両氏がこれまでに培った幅広い人脈と経験を活かしてそれぞれの文化会館の運営にあたることにより、日独及び日仏については日欧の文化交流にさらに力強い息吹がもたらされ、両文化会館の事業がますます充実したものとなることを期待いたします。

【ケルン日本文化会館】

新館長 手塚 和彰(てづか かずあき)氏(現・青山学院大学法学部教授)

千葉大学教授、ケルン大学客員教授、マックス・プランク国際比較社会研究所客員研究員、千葉大学法経学部長、同大学大学院専門法務研究科教授を経て、現在、青山学院大学法学部教授。この間、政府や地方自治体の各種委員(神奈川県外国人労働者問題懇話会、外務省外国人問題検討委員会、法務省出入国管理政策懇談会、神奈川県人権施策懇話会、神奈川県労働審議会、千葉県福祉政策懇談会、千葉県地方労働委員会、外務省海外交流審議会、東京都福祉審議会、厚生労働省千葉最低賃金審議会、定住外国人の子どもへの教育等に関する政策懇談会等)を歴任。

【パリ日本文化会館】

新館長 竹内 佐和子(たけうち さわこ)氏(現・京都大学工学研究科教授)

早稲田大学法学部卒。専門は国際科学技術政策、国際経済政策、環境・エネルギー、知的資産・企業価値評価。工学博士、経済学博士。

フランス・応用数理経済研究所客員研究員、フランス国立ポンゼショセ工科大学国際経営大学院副所長、長銀総合研究所主席研究員、東京大学大学院工学研究科助教授、京都大学工学研究科特命教授を経て、現在同教授。この間、国際機関や日本政府の各種委員(世界銀行、税制調査会、財政制度審議会、独立行政法人評価委員会等)を歴任。2004年にフランス政府より国家功労賞シュヴァリエ勲章受章。



ケルン日本文化会館

ケルン日本文化会館は、ドイツへの日本文化紹介と日独交流を目的として日本政府が計画・建設し、1969年に開館しました。運営は、開館当初は財団法人国際文化振興会が担っていましたが、1972年の国際交流基金の発足に伴い同基金に移管され、現在まで多様な活動を継続して行っています。

(URL: ドイツ語・日本語 <http://www.jki.de/>)



パリ日本文化会館

パリ日本文化会館は、1982年の日仏両政府間の合意に基づき、日仏協力及び官民共同のプロジェクトという基本構想の下、1997年9月、エッフェル塔近くセーヌ河畔に開館しました。国際交流基金の海外拠点の1つとして、民間支援組織である「パリ日本文化会館支援協会」からの協力も得て運営されています。

(URL: 仏語 <http://www.mcjp.fr/> ・ 日本語 <http://www.jpj.go.jp/mcjp/>)



お問い合わせ

国際交流基金 情報センター 所、桶田

TEL : 03-5369-6075、FAX : 03-5369-6044 メール : press@jpf.go.jp